

平成30年度大津市伝統芸能会館 主催能楽公演

狂言会『附子』と『蝸牛』



平成30年6月10日(日)

午後2時開演(午後1時30分開場)

会場 大津市伝統芸能会館

狂言会『附子』と『蝸牛』

平成30年6月10日(日)

午後2時開演(午後1時30分開場)

会場 大津市伝統芸能会館

二年ぶりの開催となる大津市伝統芸能会館の狂言会。この度は、小学校の授業でも取り上げられ、狂言の中でも最もポピュラーな『附子』と、不思議な展開がともおもしろい『蝸牛』を上演いたします。大人から子供まで、ご家族でお楽しみいただける公演です。

◎お話 ワークショップ 茂山宗彦

これから上演される狂言についての楽しいお話と、ご来場のお客様とのワークショップがございます。



◎大蔵流狂言『附子』

太郎冠者 茂山 茂
主人 茂山千作
次郎冠者 島田洋海
(後見)井口竜也

山一つ向うまで出かける主人は、太郎冠者と次郎冠者に留守番を言いつけます。主人は二人に桶を見せ、この中には附子という毒が入っていて、その方から吹く風にあたっただけで死んでしまうくらいだから、絶対に近づかないようにと言ってお出かけます。しかし、だめだと言われると、やってみたくなるのが人情。二人はこわごわ桶に近づき、中をのぞき込みます。すると、中身は附子ではなく、おいしそうな砂糖だったのです。二人は我慢できず、つい砂糖を口にしてしまい、とうとう全部たいらけてしまいます。そして、言い訳のために主人の秘蔵の掛け軸や、天目茶碗をこわして、大声で泣きながら主人を待ちます。驚き怒る主人に、二人は訳を話すのですが・・・
一休さんの頓知ばなしとしても登場する有名な狂言です。

◎大蔵流狂言『蝸牛』

山伏 茂山千五郎
主人 井口竜也
太郎冠者 茂山宗彦
(後見)島田洋海

長命の祖父をもった主人が、カタツムリを食べさせると長生きをするという噂を聞いて、太郎冠者に取りに行かせます。しかし太郎冠者はカタツムリをまだ見たことがありません。そこで主人にカタツムリの特徴を教えてもらい数へ探しに行きます。するとそこにいたのは、修行を終えて山から帰る途中に昼寝をしていた山伏。その山伏の扮装が教わったカタツムリの格好に一致したため、太郎冠者は山伏をカタツムリだと思い込み連れて帰ろうとしますが・・・

山伏の扮装と蝸牛の姿が似ているという発想が面白く、また扮装が一致するという山伏の説明に納得する太郎冠者のとほけた仕草が見所のひとつです。

座席図



入場料 全席指定

一般前売 大人 2,500円 中学生以下 1,500円 (当日 各500円増)

平成30年度友の会 大人 2,200円 中学生以下 1,200円

チケット発売日 一般前売 3月31日(土)午前10時～ 友の会先行販売中

チケット取扱

大津市伝統芸能会館 tel 077-527-5236 堅田駅前観光案内所 tel 077-573-1000

※友の会のチケット販売は大津市伝統芸能会館のみです。

未就学児のご入場はお断り申し上げます。記載内容は変更になる場合がございます。

主催・会場・お問い合わせ

大津市伝統芸能会館 大津市園城寺町246-24 tel 077-527-5236

指定管理者 大津PAC&KLPグループ 株式会社ビーエーシーウエスト

URL <http://www.dentogeinokaikan.net/> E-mail info@dentogeinokaikan.net

交通アクセス

京阪電車石坂線「別所」駅より南へ約400m JR大津駅、大津京駅からタクシーで約10分

※ご来館者様専用無料駐車場がございます(先着50台)

後援 大津市議会 京都新聞

チラシ使用写真 『附子』撮影/上杉 通 『蝸牛』撮影/川西 善樹